

平成 25 年 3 月 1 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭
(コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 橘高 公久
電話番号 03-5572-0233

オーストラリア イクシスLNGプロジェクト
トータル社への権益の一部追加譲渡にかかる手続きの完了について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、子会社のインペックス・イクシス社など豪州グループ会社を通じてプロジェクトパートナーとともにイクシスLNGプロジェクトの開発作業を操業主体（オペレーター）として進めておりますが、当社グループ会社が保有する本プロジェクト権益^(*)の一部（6%）をトータルグループ会社に追加的に譲渡することについて、このたび、必要な譲渡手続きが完了しましたので、お知らせいたします。

^(*)本プロジェクト権益は以下を含みます：

1. WA-50-L鉱区（イクシスガス・コンデンセート田を含む）およびWA-51-L鉱区権益
2. WA-285-P鉱区（WA-50-L鉱区に隣接する探鉱エリア）権益
3. ガスパイプラインおよび下流液化施設等を保有し、液化・販売等を実施する下流事業会社であるイクシスLNG社の株式

今回の譲渡手続きの完了により、イクシスLNGプロジェクトの権益保有比率は次のとおりとなります。

当社(オペレーター) :	66.070%
トータル社 :	30.000%
東京ガス :	1.575%
大阪ガス :	1.200%
中部電力 :	0.735%
東邦ガス :	0.420%

なお、本譲渡手続きの完了に伴う平成25年3月期の連結通期業績への影響としては、経常利益および税金等調整前当期純利益がそれぞれ約420億円増加いたしますが、当該影響額は2013年2月6日に公表した平成25年3月期の連結通期業績予想に既に織り込んでおりますので、今回改めて業績予想の修正はいたしません。

今後も当社は、イクシスLNGプロジェクトに関係する地域コミュニティの方々、連邦政府、西豪州政府および北部準州政府等のオーストラリア政府関係者やプロジェクト関係者の方々のご理解とご協力を得ながら、このプロジェクトを遂行してまいります。

以上

イクシスLNGプロジェクト

イクシスLNGプロジェクトは、当社が操業主体（オペレーター）としてトータル社、東京ガス、大阪ガス、中部電力および東邦ガスとともに、オーストラリア連邦西豪州沖合に位置するイクシスガス・コンデンセート田より産出される天然ガスを、オーストラリア連邦北部準州のダーウィンに建設するガス液化プラントにて液化し、年間840万トンのLNGおよび年間160万トンの液化石油ガス（LPG）として生産・出荷するとともに、洋上貯油・出荷施設（FPSO：Floating Production, Storage and Offloading）等から日量約10万バレル（ピーク時）のコンデンセートを生産・出荷する大規模なLNGプロジェクトです。

当社は、1998年の公開入札により本プロジェクトが位置する鉱区の探鉱権を取得、その後の探鉱・評価作業や基本設計作業などの開発検討作業を経て2012年1月に本プロジェクト最終投資決定を行いました。現在、2016年末までに生産を開始すべく順次開発作業を実施中です。